



2021-22 年度
国際ロータリー会長
シュカール・メータ

Weekly Report Niigata



2021～22 年度
新潟ロータリークラブ会長

石橋 正利



新潟 RC 10月第 3例会 (202.10.19) (Zoom 例会併催) No.3386

(1) ロータリーソング「我等の生業」ピアノ演奏

(2) 石橋 正利会長挨拶

新潟ローターアクト・クラブ例会で、会員の皆さんに、卓話をさせて頂きました。

まずは、「ポール・ハリスものがたり」と「米山梅吉ものがたり」を寄贈してもらい、ポール・ハリスさんと米山梅吉さん、二人の出会いなど、ロータリー・クラブの歴史を「日本のロータリー100周年を祝う会」の映像で紹介しました。

それから、新潟ロータリー・クラブ会長としての今年度のテーマ「知人から友人へ、奉仕の心を持つロータリアンへ」を掲げた背景と、国際ロータリー会長シュカール・メータさんのテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の事例として、ウォルト・ディズニーさんが、ディズニー開園時の言葉『私はディズニーランドが、人々に幸福を与える場所、大人も子供も、楽しい思い出を作ってもらえる様な場所であって欲しいと願っています。』から、超我的奉仕と職業奉仕の実践者であることを伝えました。

ロータリーの奉仕理念については、他人に役立ちたいという心を実践しているモデル組織として、中越地震で当時2歳の皆川雄太くんを命懸けで救い出してくれたハイパーレスキュー隊を紹介してもらいました。

最後に、まずは、「プラスの言葉と感情と表情」で周囲に奉仕しようと提案しました。

「水からの伝言」に載っている、水を結晶化してみる実験では、「ありがとう」や「私にはできる」や「笑った顔」といったプラスの波動を伝えた水を結晶化すると綺麗な結晶が出来ますが、「ばかやろう」や「私にはできない」や「怒った顔」といったマイナスの波動を伝えた水は、綺麗な結晶ができません。そこで、ペアになってもらって、「私は、誰の役にも立っていません。すごく悲しいです。」と言った場合と「私は、皆の役に立っています。すごく嬉しいです。」と言った場合で、リングの力が入るか、入らないかを体験してもらいました。

卓話の最後に、こんな感想を頂きました。

「★ロータリーの歴史の映像を見たことが無かったので、大変、ためになりました。自分たちがどんな奉仕ができるか、改めて奉仕の大切さを考えるきっかけとなりました。

★卓話を頂きありがとうございました。Oリングの体験は言葉の力を身をもって感じる事ができ、日々の生活の中で肯定的な言葉や感情を大事にしていこうと思いました。大変貴重なお話をありがとうございました！」

他に、ライラ研修に参加してまいりました。今年度のテーマは「新しい生活様式での人間関係を考える」でした。RYLAとは、Rotary Youth Leadership Awards ロータリー青少年指導者養成プログラムです。今回のライラ研修は、3名の講師の方の講話がありました。1人目は、掛札逸美氏による「これからの人間関係とリーダーシップ」、2人目は、橋本英俊氏による「今だからこそ自分と向き合おう」、3人目は、「障害のある人ない人が共につくる、明日になる花」でした。ローターアクトの若手だけではなく我々ロータリアンにとっても、大変、参考になる内容だったと思います。

(3) 新会員紹介



(株)BSN アイネット

代表取締役社長 南雲 俊介君

御紹介者 佐藤 隆夫君

所属委員会 社会奉仕委員会

この度、伝統ある新潟ロータリークラブに入会させて頂く事になりました、南雲俊介です。私は1959年新潟市生まれ、1982年に(株)BSNアイネット(当時(株)BSN電子計算センター)に入社し、主に営業系の仕事に長く携わって参りました。座右の銘は「和而不流(わしてりゅうせず)」信念を持ちつつ人との和を大切にする生き方を目指しています。今取り組んでいる事の一つにバンド演奏活動があります。メンバーは7名、練習や演奏会を通じてのコミュニケーションから多くの学びと活力を得られる有意義な活動として大切にしています。

また、父が魚沼出身という事もあり、幼少より慣れ親しんだスキーも暫くの封印を解き、昨年より15年ぶりに再開しました。

皆様のご指導を頂きながら、クラブの活動と新潟の発展に貢献できるよう頑張って参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(4) 高橋 康隆ゴルフ同好会会長報告

10月17日に開催された親睦ゴルフコンペの優勝者は本多 晃さんでした。

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)

本多 晃君

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一委員)

本多 晃君

青少年育成基金寄付発表(小飯田 澄雄委員長)

本間 彊君 本多 晃君

田村貫次郎君

(6) ニコニコボックス紹介(本多 晃委員長)

・小田 等君(元米山奨学生張文婷さんカウンセラー)

張さんと8年ぶりにお会いできてニコニコします。

・佐藤 隆夫君 BSN アイネット 南雲社長の加入を歓迎致します。

・酒井 昌彦君 結婚祝いのお花ありがとうございました。

・得永 哲史君 30年ぶりのゴルフ、皆様にご迷惑をおかけしました。

・本多 晃君 一昨日のコンペで優勝させていただきましたが、ニコニコ出来るスコアではありませんでした。しかし本日、20数年ぶりに新潟大学の講義を担当し無事に終えましたのでニコニコします。

(7) 幹事報告(内山 博之)

来週26日の月見例会会費としてイタリア券クーポン券をご利用される方は当日お持ち願います。

(8) 10月19日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
87	86	59	68.61

Zoom 参加者 11名

米山月間に因むお話

Think globally, Act locally.

(「地球規模で考え、地域で行動する」)

新潟大学人文社会科学系(経済学部)

環東アジア研究センター(中小企業ナレッジネットワークセンター) 専任講師

2011-13年度米山奨学生 張文婷氏



ロータリーアンの皆さま、ご無沙汰しております。8年前、私は皆さまにさまざまな面で支援してもらった1人の学生でした。思い返せばたいへん感慨深い思いで温かい感情に包まれます。当時は博士課程へ進学するか否か迷っているときに、米山ロータリーの合格通知を受けて、暗いトンネルに一筋の光が差し込んだような気持ちでした。このとき、はじめて地域への貢献精神から、企業の経営者たちが学生を支援するネットワークがあることを知り、その一人の学生に選ばれたことに感謝の気持ちでいっぱいでした。卒業後は一旦、母国の中国に就職をするものの、結婚を機に新潟に戻って参りました。そして、娘が1歳半の頃、研究者への道を諦めきれず、下積み時代が始まることとなったわけですが、幸いなことに多くの優秀な研究者に恵まれて、教育歴や研究業績を少しずつ積み重ねることができて、ようやく2019年4月に新潟大学の経済学部(2020年4月「経済科学部」に改名)の専任講師として落ち着くことができました。着任してからは、経営学や中小企業論を中心とした科目を教えています。インプットやアウトプットを繰り返していくうちに、地域社会に貢献したり、雇用を守る地域密着の中小企業の貢献度がいかに重要なものか、研究すればするほどわかってきます。われわれは、これまで「企業規模」を基準に、企業について論じることが多かったのですが、単に数字や規模を基準とするのではなく、地域の雇用や文化を守る意味で地域への社会貢献度を新しい側面で評価しなくてはならないですし、実際その必要性に迫られています。このように、それまでは1人の学生として地域企業に支援してもらった受け身の立場から、1人の教員として地域企業の意義や存在、魅力、貢献度を発信する立場になりました。現在は地域企業と企業間ネットワークについて研究していますが、こうした取組は、ロータリーの理念である「人びとが手を取りあつて行動し、ローカルとグローバルネットワークとして、多様性を重んじる」とも合致していると考えます。Think globally, Act locally. 「地球規模で考え、地域で行動する」というロータリーの教えは、思えば、私が学生時代だったころから、皆さまに教えていただき、そこが私の研究人生の出発点であつたと感じております。

「会員スピーチ」

“あまねく” 役立つ公共メディアに

～時流とともに進化・深化・真価～

日本放送協会新潟放送局局長 矢部 典男君

10月26日の例会予定

「月見例会」 於 イタリア軒

17:00受付 17:30開会 19:30閉会

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>